

2017年10月1日

大阪大学とのポリ酸触媒／アパタイト粉体（ノンハライト®）の ノウハウに関する知的財産の実施権許諾契約締結について

日本材料技研株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 浦田 興優、以下「日本材料技研」）は、このたび、国立大学法人大阪大学との間で、ポリ酸触媒／アパタイト粉体（登録商標：『ノンハライト』）（以下「ノンハライト®」）のノウハウに関する知的財産の実施権許諾に関する契約を締結しました。

ノンハライト®は、大阪大学産業科学研究所 市原潤子招へい教員と山口俊郎助教の研究から見出された粉体です。ノンハライト®に有機化合物と過酸化水素水を染み込ませ、粉体状態のまま静置するだけで、有機溶媒を用いることなく廃棄物は水だけというグリーンケミストリーを実現できます。さらに、全工程でハロゲン化物を用いないことにより、完全なハロゲンフリーも実現可能となります。

<ノンハライト®>



<ノンハライト®を用いた酸化反応システム>



ノンハライト®を用いた粉体酸化反応により、透明性エポキシ原料や耐熱性エポキシ原料など、様々な機能性エポキシ原料を高転化率、高純度（高選択性）で合成することができます。また、その他酸化反応にも幅広く適用可能性があり、N-オキシドやスルホンを有する機能性ポリマーなど、高機能性有機材料を高純度かつハロゲンフリーで合成することができます。

日本材料技研は、素材分野に特化したファブレス型ベンチャーとして、国内企業や大学・研究機関等で開発された革新的技術について、ライセンスアウトやカーブアウトを通じた事業化に取り組んでいます。今後も、大学が開発した未活用技術の事業化を進めることで、日本の素材産業におけるイノベーション創出に貢献してまいります。

以上